

一般質問(個人質問) 通告書

受 付	月	日
午 前	時	分
後		

平成 年 月 日

笠岡市議会議長 殿

笠岡市議会議員 樋之津 倫子[㊟]

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答 弁 を 求 め る 者
1 空き家対策について	<p>これまで複数の議員が空き家対策について質問してきたが、いずれの答弁も個人の資産であることから所有者に対しての通知ぐらいが関の山という印象が強い。</p> <p>しかし、倒壊などの危険性の高い空き家は、安全安心の市民生活をおびやかすものとなり得るのは明らか。問題が起こる前に対策を講じるのは自治体の責務と言える。全国的な先進例や教訓をもとに、真剣に問題解決に取り組むべきと考える。</p> <p>① 市内の実態についてたずねる。</p> <p>② これまでの答弁では、「個人の資産」という問題解決の壁となっていた点について、様々な角度から「一つ一つクリアーして(解消する)」と述べられているが、その後どこまでクリアーできたのかたずねる。</p> <p>③ 以上をもとに、市としてどう解決しようとしているのかたずねる。</p>	市長
2 一人暮らし高齢者対策について	<p>住民の半数以上を 65 歳以上の高齢者が占め、冠婚葬祭など共同体機能が困難になるとされる「限界集落」数は中国地方がトップで 2270 か所。その中でも岡山県はワースト 1 とされる。2007 年 9 月の国土交通省の発表は今、ますます深刻になってきている。</p> <p>こうした中での一人暮らし高齢者対策について、各自治体が新鮮な視点で実態調査に取り組むことには大きな意義があると考ええる。</p> <p>笠岡市の H24 年 6 月現在の高齢者数調査によると、65 歳以上のいる世帯数は 10,453 世帯、65 歳以上の夫婦の世帯数は 2611 世帯、65 歳以上の単独世帯は 2561 世帯。今後の対策を充実発展させる視点から、幸福度にもつながる生活実態の把握が必要と考える。</p> <p>そのためにはこれまでの基礎調査を充実させ、可能な限</p>	市長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答 弁 を 求 め る 者
3 改正後の介護保険制度について	<p>りの訪問面接による2次調査が必要となる。そのことで、単純な数量的なデータ集計の上に詳細な分析と質的なデータが収集でき、生活実態をより深くとらえられるのではないかと思うが、市長の考えをたずねる。</p> <p>① 今年の4月から介護保険制度が改定された。その問題点はこれまでの質問の中で指摘してきたとおり。たとえばヘルパーによる生活援助時間の短縮や、介護職員による吸引(医療行為)を認めるなどである。そうでなくとも高い保険料は月額平均1000円も引き上げられ負担能力の限界に達している。その上サービスの低下を招き、安全性もおびやかされる今回の改定には介護保険の危機的状況がうかがえる。合わせてマイナス介護報酬改定もあり、介護職員の働く条件も引き下げられ、安心して介護の仕事ができにくい状況が生まれている。改定後の実態をどのように把握されているのかたずねる。</p> <p>② 特養入居希望の待機者が笠岡市民実質180名と聞く。介護施設が市内飽和状態という中、新規施設設置事業が進行しているとされるがその経過についてたずねる。また、施設利用が多くなると、当然保険料に跳ね返ると考えられるが、これ以上の保険料の引き上げがあってはならない。その対策をどうとるのかたずねる。</p>	市長